

令和2年度「尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業」活動報告書

1. 教育・研究活動名 「地球・地域とつながる共生ライブ」(新しい生活様式編)
2. 申請団体 兵庫県立尼崎北高等学校
3. 活動グループ名 芸術鑑賞部
4. 教育・研究活動目的・目標

本校は「地球・地域とつながる尼北」をスローガンとし、私たち芸術鑑賞部も地域密着型の軽音楽活動やボランティア活動に力を入れ、多くのイベントを企画、参加し、幼児から高齢者まで多くの市民の皆さんと交流を深めてきました。

昨年度はこれに社会福祉の観点を取り入れ、尼崎市福祉協議会立花支部から紹介された子ども食堂の実態について理解し、自分達に何ができるかを考え、様々な取り組みを行い、考察することで、学びを深めたいと考えました。

2年目となる今年度は、新型コロナウイルスによる休校やイベント自粛など非常に困難なスタートとなるが、子ども食堂に加えて高齢者施設なども視野に入れ、「離れてつながる」可能性も含めて、状況に応じて自分達に何ができるかを考え、様々な取り組みを行い、考察することで、学びを深めたい。

コロナで大幅な変更となったのですが、今年度の当初の計画は以下の通りでした。

(1) 昨年度からの継承

子ども食堂との音楽や工作での交流、地域の子どもの対象とした工作教室と音楽演奏、幼稚園児・保育園児対象の演奏会に加え、高齢者とのふれあい演奏会などが行えればと考えていましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、イベントなどが行いにくい状況となりました。状況を見ながら、できる限り実施できればと考えています。

(2) 新しい生活様式による福祉活動・・・With コロナ

外出やイベントの自粛により、従来通りの活動が制約される可能性が高いため、今年度の研究テーマとして、新しい生活様式による福祉活動を掲げました。

4月、5月の休校により、生徒、教師ともに、Zoom や動画によるリモート授業を経験し、部活動のリモート演奏などの情報も得ました。また登校しても、3密を避ける活動や、消毒、飛沫の防止などの感染防止にも取り組みました。

これらの経験をもとに、昨年度のような交流ができたとしても、感染防止対策を十分にとる必要があります。

さらに、第2波、第3波が来た場合には、リモートを余儀なくされる可能性が高いため、「離れてつながる」福祉活動の在り方を考えました。

これらは、ちょうどこの夏、視聴覚機器や WiFi 環境が県立高校で整備されることから実現可能と考え、計画しました。

(3) リモートによる活動例

① リモート工作教室

生徒たちが準備した工作材料を、協力して下さる小学校に配布。道具は必要に応じ消毒して貸し出す。

作り方説明動画を作成し、小学校でそれを見ながら作ってもらう。

小学校の先生との打ち合わせは、Zoom などを利用する。

② 子ども食堂演奏指導

子ども達が決めた曲の、各楽器の弾き方の解説動画を作成し、それを見て練習してもらう。

できれば、貸し出し用の楽器を、市民の皆さんから寄付してもらう方法はないかと考えています。

③ 幼児からお年寄りまでのリクエストに応えた演奏・ダンス

童謡から演歌まで、可能な限りリクエストに応えた演奏やダンスの動画を作成し、各施設で見ってもらう。

④ 尼崎に関する曲や、皆さんからキーワードをもらっての世界にたったひとつのオリジナル曲の作曲にも挑戦したい。

⑤ ラジオ体操などの音楽演奏付き体操動画

よい子のみんなからお年寄りまで、皆さんに元気になっていただくための動画を作成したい。

(4) 出口戦略・・・脱コロナ

イベント自粛が緩和される段階で、野外での小規模イベントから順に解禁になることが予想されます。

このため、その際には公園などでの小音量での演奏イベントができないかと考え、電池駆動アンプなどの整備をしています。

5. 想定される活動成果

様々な境遇の幼児、児童、高齢者の方々と音楽や工作、学習支援などを通じて関わり、その実態を知り、生徒達と地域住民の方々との間で地域社会における共生の在り方を模索する。高校生の視点で感じたこと、意見、アイデアなどを、大人社会や行政に対して提案し、実践する。

6. 活動内容

子ども食堂や、地域の保育所、幼児、児童、高齢者と交流し、工作教室や音楽ライブ、学習支援を行う。現在の社会情勢を鑑みると、「離れてつながる」方法の模索から、野外の小規模イベントの再開という段階が予想されるため、その状況に合わせて幅広い関わり方を考え、地域社会における共生の在り方を共に考える。昨年の活動の積み上げがリセットされないように、情熱の炎を消さないように、その時々に行えること、やるべきことに挑戦してゆきたい。

尼崎にまつわる曲など、地域の文化を再認識し、その発信も試みたい。

7. 活動報告

(1) 子ども食堂交流・・・【年間を通じて中止】

① 昨年度提携させていただいた子ども食堂「うさぎ屋」さんがコロナ禍で閉鎖となったため、軽音教室や工作教室などの計画が全て中止となりました。

② コロナの状況を見ながら、一般の小学生を募集して軽音教室や工作教室を行うことにしました。

(2) こどもライブ・・・【年間を通じて中止】

① 昨年度、幼児にも高校生にも好評だった幼児対象のライブですが、幼児が集団で盛り上がりすぎてしまう懸念から中止しました。

② 代わりに、幼児向けの演奏動画の配信という形でつながることはできないかと考えました。

(3) 高齢者向けライブ・・・【年間を通じて中止】

① 昨年度から計画しており、実施できなかった企画でしたが、今年度もコロナで高齢者施設の訪問が難しく、中止しました。

② 代わりに、高齢者向けの演奏動画の配信を考えました。

(4) エコあまフェスタ・・・6月6日(土)【開催中止】

① テーマソングの演奏、市民ブースやイベント全般の手伝いなど、市民の皆さんと交流できる最大の行事だったので中止は残念でした。

(5) 地域清掃・・・7月31日(金)・12月24日(木)・1月17日(日)・3月22日(月)

① 昨年に引き続き、塚口西住宅自治会の定期清掃に年間計4回、本校1年1組環境類型の生徒とともに参加させていただき、本校周辺道路を各回約40分間にわたってゴミ拾いをしました。

② 今年度はコロナのために、住民の方達との集合を行わない形で行いましたが、離れていてもつながっている気持ちになり、ゴミを拾って街がきれいになると心が爽やかになりました。

③ 音楽系クラブの音や運動部の声、飛び出してゆくボール、通学時の自転車。学校が存在するとふつうに活動しているだけで近隣の住民にはご迷惑をおかけしていると思います。その中で共生させていただいていることへの感謝と、地域への責任から参加させていただきました。このような交流を通じ、これからクラブ活動を続ける中で、常に感謝と騒音に配慮することを心掛ける気持ちを持ち続けてほしいと思います。



(6) 打ち水大作戦夕涼みライブ・・・7月31日(金)

- ① あまがさき環境オープンカレッジ主催の「打ち水大作戦」が本校で開催されたため、終了後、本校環境類型テーマソングの「地球を愛せ」を演奏させていただきました。
- ② 今年度はコロナのため、食堂の中で演奏し、外から聴いていただくという形を取りました。
コロナの中で、どうやって演奏をさせていただくか、どのようにしてつながってゆくのか、試行錯誤が続きます。



(7) FMあまがさき収録・・・11月13日(金)

- ① アルカイクホールにあるFMあまがさきのスタジオで、幼児や小学生、高齢者に対する日頃の活動や、これからの計画を報告させていただきました。
- ② コロナで活動が制限される中、動画配信サイトYouTubeに「尼北チャンネル」を創設し、コンテンツを拡大させてゆく計画を宣伝できてよかったです。
- ③ このような放送や動画配信によって、コロナでも「離れてつながる」ことができると思いました。
- ④ これから私たちも「小さな放送局」になるので、働いている方々の姿や、リスナーの反応を想像することが、貴重な経験となりました。



(8) たちばなこうさくきょうしつ・・・11月14日(土)

- ① 尼崎市役所立花地域課主催の「たちばなスタンプラリー」の協賛イベントとして、立花庁舎で幼稚園児から小学校低学年の児童を対象に工作教室を行いました。
- ② 子ども相手のイベントは高校生も楽しみにしており、久々に実施できたため、喜びも大きかったです。
- ③ 対象年齢を考え、小さな子供でも作れて飛ばせる紙飛行機を作ってみんなで飛ばし、簡単にできる分光器を作っていろいろな電球の光を観察しました。
- ④ 小さな子どもも目線で対話したり、教える難しさを思い知りましたが、子ども達の楽しそうな顔を見て、やりがいを感じることができました。
- ⑤ 昨年度までは、工作を作る合間に音楽演奏を入れていたのですが、今回はコロナを考慮し、密集での大声での発声を控えました。今後、音楽を入れてゆく方法を考えたいと思います。
- ⑥ 部員達の自信になり、子どもたちにも保護者にも好評だったと思います。特に、参加した子どもの保護者の方から、感謝のメールと写真を送っていただいたことは、部員達にとってうれしいできごとでした。
- ⑦ 部員達が一番苦労したのは、子ども達に作ってもらうための下準備としての部品づくりで、廃棄する段ボール箱を削り抜いての発射台づくりや、使い古しのファイルを切っての下敷きづくり、安全のためにゴムシートを切って加工した紙飛行機の「重り」づくり、道具集めや確認などの作業を乗り越えて当日を迎えました。そんな苦労も子ども達の笑顔で吹き飛ばすのが、幼児と高校生の交流の良さだと思います。



(9) あまきたこうさくきょうしつ・・・11月15日(日)

- ① 立花庁舎での工作教室の翌日、同じ企画を本校で行いました。多くの幼児・児童、保護者の方に参加していただき、盛況でした。



(10) 工作解説動画

- ① 動画配信サービス YouTube を利用した本校公式の「尼北チャンネル」に、工作教室で作ってもらった工作の作り方の解説動画を録画し、配信しました。
- ② 工作教室参加者に余分に持って帰っていただいた型紙の作り方の説明も兼ねているのですが、将来的には、小学校などに工作材料を届け、動画を見て作ってもらうというシステムを考え、その試行実験として行っています。
- ③ 今年度の1学期はコロナによる休校、分散登校などで、教師も授業動画を作り難しさを思い知りましたが、部員達も同じ体験をし、いろいろ工夫をしました。



(11) 高齢者向け弾き語り動画

- ① 今年度は高齢者施設を訪問しての演奏や、高齢者が集まるイベントでの演奏を考えていたのですが、コロナで実施できないため、YouTube での演奏動画配信を考えました。
- ② バンド演奏はハードルが高いため、まずはギター弾き語りを行いました。
- ③ 昭和の曲は、意外に知っている曲が多く、第1弾として、荒井由実(松任屋由実)さんの「やさしさに包まれたなら」を配信しました。



(12) 尼北けいおん教室・・・12月23日(水)

- ① 昨年度、子ども食堂の小学生に対して実施した楽器体験を、一般募集の小学生と保護者の方に対して行いました。
- ② 小学生のリクエストに応じて、高校生がヒット曲の「香水」を演奏した後、様々な楽器に挑戦していただきました。
- ② 参加者の技量が予想できないため、出たところ勝負だったのですが、小学生と高校生が上手くコミュニケーションを取り、展開してくれたと思います。教える楽しさも知った気がします。



(13) 尼北軽音教室(大人版)・・・3月27日(土)

- ① 立花地域課の主催で立花庁舎で行わせていただきました。当初2月に予定し、募集をかけていただいていたのですが、緊急事態宣言発令で中止となりました。
- ② 宣言解除後、来年度を見据えて試験的に行うことに協力して下さることになりました。
- ③ 「大人版」は、子ども対象の軽音教室を行った際に、立花地域課の職員の方から、「若い頃に楽器を少し触って挫折したままになっていた中高年の方からの参加希望の声が多い」とうかがい、実現しました。
- ④ 年齢の違いが3倍、4倍なので、コミュニケーションは難しいはずなのですが、「音楽」という題材の元にお互いの歩み寄りによって、良い形で交流をもてたと思います。
- ⑤ 子どもを対象に開催すると保護者が同伴され、大人を対象に開催すると子どもが一緒に来るので、いずれにしても多くの世代が交流することになり、福祉というのは、単に「ボランティアするぞ」ではなくて、自分が得意なことを周りに広げてゆくことで、周りの人が笑顔になれるというのが、無理のない自然な形なのかなと思いました。

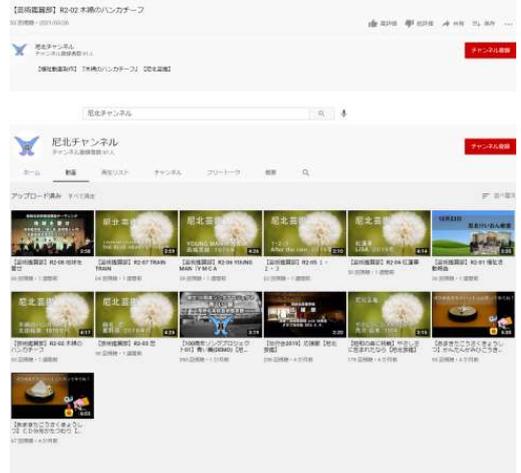
(14) 高齢者向けバンド演奏動画

- ① 昨年度の子ども食堂との交流に加え、今年度は尼崎市社会福祉協議会や立花地域課の協力で、高齢者施設に訪問して演奏させていただくことを考えていたのですが、コロナの影響で叶わぬ夢と消え果てました。
そこで、昭和を中心に昔の曲を演奏して動画配信サービス **YouTube** にアップし、高齢者の方に聴いていただくことで離れていてもつながるシステムを試行することとしました。
- ② 演奏が未熟で、まだまだ「試行」にすぎないのですが、今後、技術を高め、レパートリーを増やしていければと思います。
- ③ 苦勞した点は、楽譜がなく、昔の音源を元に耳コピなどをしたことです。
- ④ 練習した曲は、

Daiamonds (PRINCESS PRINCESS)
TRAIN TRAIN (THE BLUE HEARTS)
YMCA (西城秀樹)
プレイバック Part 2 (山口百恵)
木綿のハンカチーフ (太田裕美)
赤いスイートピー (松田聖子)
タッチ (岩崎良美)

で、この中から数曲を、本校公式の「尼北チャンネル」にアップしました。

また、尼北を知っていただくために、
環境類型テーマソング「地球を愛せ」
創立100周年ソングプロジェクト「青い翼」
もアップしました。



(15) 幼児向けバンド演奏動画

- ① 昨年度は、幼稚園や保育園の幼児対象のライブを行い、部員達も楽しみにしていたのですが、今年度はコロナで開催できなくなり、高齢者向けと同様に動画を制作しました。
- ② 練習した曲は、
 - 紅蓮華 (LiSA)
 - 1・2・3 (After the rain)
 - 恋 (星野源)
 - 炎 (LiSA)
 - ひまわりの約束 (秦基博)
- ③ これも試行段階で、技術を高め、レパートリーを増やし、もっと表情豊かに演奏できるようにしたいと思います。

(16) 配布用工作材料制作

- ① 小学生との交流もほとんど行えなかったことから、組み立てセットを作って配り、作り方を動画で配信し、それを見て作っていただくという方法で、離れていてもつながることができないかと考えました。
- ② まだ始めたばかりなので、来年度はこれを発展させてゆきたいと思います。



8. 活動による変化

(1) 部員(高校生)

学校生活が、休校、分散登校から始まり、部活も活動制限を受けるたいへんな1年でした。

ふだんの活動も、この福祉活動も著しい制限を受け、全く異なる生活様式の中で、絶望的なスターを切りましたが、その中で、できることをやってゆこうと前向きに取り組みました。

消毒や換気はもちろんのこと、ボーカルの発声がクラス発生の原因とされることからマスクを着けて歌ったり、マイクに冷麺の空き容器を着けて飛沫を押さえるなど、自分達の工夫でコロナと向き合い、イベントが中止になってゆく中でも、動画配信に活路を見いだそうと必死に前を向きました。

幼児や小学生との数少ない交流では、最初は「小学生はかわいい」ということで始めましたが、教えることの楽しさを覚え、企画や教え方を考えることに必死になれるようになり、最後には、自分たちの行動で小学生が成長してゆくことを知り、やりがいを感じるようになりました。この取り組みを通じて、人と関わることで喜びを覚え、地域社会で互いに支え合って共生しているということを実感できたと思います。今年度何もしなければ、取り組みのリレーも途絶えてしまうことでしたが、なんとかバトンをつないでくれたことで、今後、活動を後輩に伝えてゆければという思いと責任を感じているようです。

また、子ども達に教えるときには教師の授業の苦勞を、工作の解説動画を作るときには授業動画の難しさを、工作の準備をするときには授業準備のたいへんさと、教師の苦勞をわかってくれた氣もします。

(2) 地域の方(幼児・小学生・大人)

幼児や小学生は、高校生が教えてくれることで、ふだん教わっている先生や保護者よりも年齢が近く、違った良さや親しみを感じてくれたと思います。また参加したいという声も多数いただいたので、地元の高校生とふれあうことで、子ども達に新たな興味が湧いたとしたらうれしいことです。

大人の人達との交流は、年齢が3倍、4倍ということもあって、ふつうであれば会話は難しいのですが、互いに歩み寄ってコミュニケーションが取れました。「音楽」という題材の存在によって、大人の人達が昔挫折した楽器に再び触れていただけて、楽しみがひとつ増えたとしたら素晴らしいことだと思います。また、部員達は家に帰って自分の親に対して、参加者の大人は家に帰って自分の子どもに対する見方が良い方に変わるのではないかなとも思いました。

(3) うさぎ屋さん

昨年度はさまざまな取り組みをさせていただいたのですが、今年度は子ども食堂を閉鎖されていたことで協賛事業を行うことができませんでした。

来年度、コロナの状況が改善されれば、またお世話になりたいと思います。

(4) あまがさき環境オープンカレッジ・立花地域課

コロナ渦にあって、様々な企画を提案いただき、協力していただけたことに感謝します。

これらに関しては、それぞれの報告の欄に書かせていただきましたが、我々が積極的に参加しようとすることを評価していただき、本当に多くの方々に多くの機会をいただいたと思います。感謝の限りではありますが、市民の方々も、若い人(高校生)が参加してくれることがうれしいとおっしゃって下さり、部員の励みにさせていただきました。確かに、様々な活動を未来につなげてゆくためには、多少足手まといになっても、若い力に頼ることが必要かもしれません。様々な体験を通じて、地域社会で支え合い共生していることを実感させていただいたと思います。

9. まとめ・今後の展望

昨年度に引き続き、基本的にお話をいただいたことは断らずに何でもやるという方針で、様々な活動にチャレンジさせていただきました。

自分が何に向いているかということは意外に自分ではわからないもので、薦められたことを嫌がらずに前向きにやってみると新しい自分が発見できるものだと思います。

今回の挑戦も、軽音楽部としては無謀な企画もありましたが、全ての取り組みにおいて新しい発見があり、本校部員たちの、そして相手をしてくださった小学生や市民の皆さんの互いの成長につながったと思います。

そして本職のバンド活動に生かせるものも、たくさんいただいた気がします。

最初は仕方なく取り組んだ部員もいたと思いますが、全ての企画で一生懸命に取り組む姿を見て安心しました。

今年度はコロナによって、他のクラブと同様に活動が著しく制限されました。また、市民のイベントも多くが中止となり、本当に苦しい1年でした。せっかく積み上げた活動や交流がリセットされてゼロになってしまうこと、情熱の炎が消えてしまうことは、これからの活動や交流を考える上で大きな痛手で、それを恐れていました。しかし、壊滅的打撃を受けても文化は滅びません。軽音楽の活動自体がふつうにやれば「3密」なので復興は前途多難ですが、世界がそうしているように、ソーシャルディスタンス(社会的距離)を考え、刻々と変化する状況に応じて、そのときどきにできること、すべきことを引き続き部活全体で考えてゆきたいと思います。

本校芸術鑑賞部は、この事業に参加させていただく以前から地域との交流を部活の活動目的の大きな部分にしていたので、次年度以降も新しい形を模索しつつ前進してゆきたいと思います。

最後になりましたが、本事業に関わってくださった全ての人々に対して、部員も顧問も非常に感謝しております。ありがとうございました。

※2020年度尼崎北高校芸術鑑賞部活動一覧

	校内活動	対外活動	ボランティア活動
4	環境類型オリ演奏【中止】 新入生歓迎会演奏【中止】 壮行会応援歌演奏【中止】 新入生歓迎ライブ【中止】	園田尼北合同ライブ【中止】 軽音連オリ【中止】	地域清掃【中止】 こども食堂交流【全て中止】
5	北高祭オーディション【中止】		鶴見緑地清掃ライブ【中止】 尼北こどもライブ【中止】
6	北高祭【中止】	軽音連ライブ【中止】 大阪城全国大会見学【中止】	エコあまフェスタ【中止】
7	引退ライブ 新入生歓迎ライブ 新入生初ライブ	作曲・編曲サポート	地域清掃Ⅰ 打ち水大作戦夕涼みライブ
8	100周年ソング収録実験	ライブ&REC【取止】 ODAフェス【取止】 作曲コンテスト【取止】 軽音連オリエンテーション	
9	オータムライブ	総文県予選(神戸電子)	
10	秋ライブ オープンハイ楽器体験		
11	ハロウィンライブ		FMあまがさき収録 たちばな工作教室 あまきた工作教室 工作解説動画配信
12	クリスマスライブ		尼北けいおん教室 地域清掃Ⅱ
1	新春発表会		地域清掃Ⅲ
2	創立100周年ソングプロジェクト		大人軽音教室【中止】
3	スプリングライブ		高齢者向け演奏動画配信 福祉活動報告動画配信 小学校向け工作材料制作 地域清掃Ⅳ 大人向け尼北軽音教室